

令和5年度 宮城県白石高等学校 「志教育」年間指導計画

3つの視点			かかわる	もどめる	はたす	かかわる	もどめる	はたす	かかわる	もどめる	はたす	かかわる	もどめる	はたす	かかわる	もどめる	はたす			
各教科指導目標	国語	○	○		地理歴史	○	○		公民	○	○		数学	○	○		理科	○	○	
	あらゆる知的活動の基盤となる言語に対する理解を深め、思考力や表現力を養うとともに、わが国の多彩な言語文化を学ぶなかで、他と交感する力を深める。			日本と世界の生活・文化について、地理的・歴史的観点から考察させ、異文化への理解を深めるとともに、国際社会において主体的に生きる自覚と資質を養う。			現代社会の構造と問題について主体的に考察させるとともに、人間の在り方・生き方について追求させ、社会の有為な形成者として必要な公民的資質を養う。			高等教育を学ぶ上で必要な原理・法則を学び理解し深め、その上で数学的な考察を表現する力を高めるとともに、実生活においてそれらを積極的に活用する能力を養う。			自然科学に対する理解を深め、科学的な自然観を身につけることにより自然と人間の密接な関わりを探究し、自然災害や環境問題に対応できる資質を醸成する。							
	保健体育	○	○		芸術	○	○		外国語	○	○		家庭	○	○		情報	○	○	
	心身の健康問題を意識し、運動に親しむことの出来る資質や能力を育て、生涯にわたって主体的に健康の保持増進を図るとともに、充実した人生を過ごそうとする態度を育てる。			芸術の幅広い活動を通して、生涯にわたり芸術を愛好する心情を育てるとともに、地域に根ざした文化・芸術活動に貢献できるような資質を養う。			外国語によるコミュニケーションにおける見方・考え方を働かせ、統合的な言語活動を通してコミュニケーションを図る資質・能力を育成する。			生活に必要な知識と技術を習得させ、社会との関わりについて理解を深めるとともに、生活課題に積極的に取り組もうとする態度と生活を創造する能力を養う。			情報活用能力を高めるとともに、情報モラルやネットを正しく理解し、情報化社会に対応できる態度を育てる。							
看護	○	○																		
基礎的な看護の知識と技術を学ばせ、看護職に従事する自覚と責任を持ち、誠実な行動ができる人間性を育てる。																				
学年共通									各学年指導目標											
指導内容	① あいさつの励行	○			1年	○ 新しい環境に適応するとともに、自己理解・他者理解に努め、望ましい人間関係の構築を図る。 ○ 主体的な学習習慣を確立し、基礎的・基本的学力の定着を図る。 ○ 課題研究等を通して、現代の諸現象への興味関心を高め、自らの進路と関連づけて考える。 ○ 諸活動において、「白高生」としての自覚を持って行動し、多様な価値観を尊重する姿勢を育む。														
	② 質素端正な服装	○				2年	○ 集団の中で、自己理解・他者理解を深め、望ましい人間関係の構築を図る。 ○ 授業重視の学習スタイルと主体的な学習習慣を確立し、学力の向上を図る。 ○ 課題研究等を通して、他者と協力しながら積極的に課題解決を図ろうとする態度を養う。 ○ 諸活動において、中堅学年としての自覚を持って自律的に行動し、多様な価値観を尊重する姿勢を育む。													
	③ 家庭学習時間の確保		○		3年		○ 積極的に周囲と関わり、互いによりよい在り方や生き方を求め、高め合える人間関係を構築する。 ○ 進路志望達成に向け主体的に学習に取り組み、学力の一層の拡充を図る。 ○ 現代社会における諸課題に対して主体的に取り組み、他者と協力しながら積極的に社会貢献を果たそうとする態度を養う。 ○ 諸活動において、最高学年としての自覚を持って自律的に行動し、多様な価値観を尊重する姿勢を育む。													
	④ 自学自習の励行			○																
	⑤ 欠席しない健康的な生活習慣			○																
	⑥ 時間の厳守(ベル着の励行)		○	○																
指導内容		ねらい				指導教科等		実施時期	時数	かかわる	もどめる	はたす								
1年	新入生オリエンテーション	高校生活に見通しを持たせ、クラス・年次の融和とよりよい人間関係の構築を図るとともに、「白高生」としての自覚を高める。				特別活動		4月	1	○	◎									
	進路ガイダンス・進路適性検査・進路学習	早期に自己理解を深め進路意識を高めるとともに、検査結果を科目選択に活用する。				特別活動		4月～5月	6	○	◎									
	課題研究・企業人講話・出前授業	現代社会における諸課題について仲間と協働して探究する力を養う。併せて発信力や表現力を身につける。				総合的な探究の時間		4月～2月	33	○	○	◎								
	合格者体験講話・修了生講話	先輩の体験談を聞き、自分の進路について考えを深め、進路目標設定の参考にする。				総合的な探究の時間		3月	1	○	○									
2年	キャリアパスポート	1年間の学習や生活、諸活動を振り返り、これからの高校生活の目標を設定する。				特別活動		3月	1		○									
	課題研究・企業人講話・出前授業	現代社会における諸課題について主体的に仲間と協働して探究する力を養う。併せて発信力や表現力を身につける。				総合的な探究の時間		4月～2月	34	○	○	◎								
	進路学習・進路講演会	自分の進路達成のための具体的な行動や取組方法を知ることにより、今後の具体的な行動計画・目標を明確にする。				特別活動		5月・10月	3	○	◎									
	合格者体験講話・修了生講話	身近な存在である先輩から心構えや経験談などを話してもらい、これからの学習の参考としてもらう。				総合的な探究の時間		3月	1	○	○									
3年	キャリアパスポート	1年間の学習や生活、諸活動を振り返り、これからの高校生活の目標を設定する。				特別活動		3月	1		○									
	志望理由書学習・面接指導	自らの進路希望を改めて見つめ直し、動機付けを図るとともに、志望理由書や面接の実際について知る。				総合的な探究の時間		5月・10月	8		○									
	模擬選挙	主権者としての自覚を高めるとともに、主体的に社会に関わる態度を養成する。				総合的な探究の時間		5月	1	○		○								
	進路講演会・進路説明会	進路別に今後自分のすべきことを確認し行動する。				総合的な探究の時間		6月・7月	2	○	◎									
	総合型選抜・学校推薦型選択ガイダンス	総合型選抜、学校推薦型の入試制度を知ることにより、今後の心構えと目標を明確にする。				総合的な探究の時間		7月	2	○	○									
ワーカールール講演会	ワーカールールに関する知識を学び、将来充実した職業生活の実現に資することを目的とする。				総合的な探究の時間		9月	1	○	○	○									
									合計時数	95										